

グラフィック社・9月の新刊

樹脂封入標本の作り方 生物を美しく記録する魔法の工作

根津 貴博 著

生きていた頃に近い姿で 透明樹脂の中に生物を保存

「樹脂封入標本」とは生物の死後、脱水・乾燥させて、腐食することなく美しい姿で樹脂の中に閉じ込める生物標本の保存法の一つです。最近では科学系の雑貨店などで販売するところも出てきたのでご覧になった方もいるかも知れません。本書はこの樹脂封入標本を「一度も作ったことがない」「見るのすら初めて」という方でも作れるようわかりやすさに重点を置いて編集した一冊です。著者は上野動物園や大学附きの研究施設などから依頼を受けて樹脂封入標本を納めている標本作家の根津貴博さん。植物・虫・動物という3つのカテゴリに分け、ごく簡単にできる入門者向けのものから、やや高度ながらできた時の感激も大きい上級者向けまで、全23種の動植物の樹脂封入標本の作り方を紹介します。フルカラー128ページ/B5判/ISBN978-4-7661-3148-2 C2076/本体：2,000円



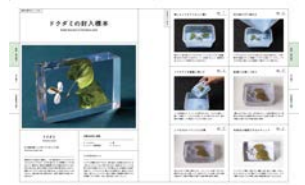
口絵ページの美しい写真で樹脂封入標本の魅力をたっぷりご紹介



写真と詳細な解説で基本となる作業をガイド

樹脂封入標本の製法を紹介する主な動植物

オニビシ アリジゴク アカハライモリ
 アミガサタケ スズメバチ アオダイショウ
 ドクダミ コクワガタ アズマヒキガエル
 ヤエヤマサソリ
 アメリカザリガニ



本編も写真やイラストを多用してわかりやすく解説

地区	書店コード	書名	注文数
書店印		樹脂封入標本の作り方 生物を美しく記録する魔法の工作 根津 貴博 著 ISBN978-4-7661-3148-2 本体:2,000円	冊